

# 中国、内外で需要不足

## 製造業 景況感改善、楽観できず

【北京＝川手伊織】中国国家统计局が30日発表した11月の製造業購買担当者景況指数（PMI）は50・1と、3カ月ぶりに好不調の境目である50を上回った。石炭価格の上昇の一方などが景況感を押し上げたが、肝心の

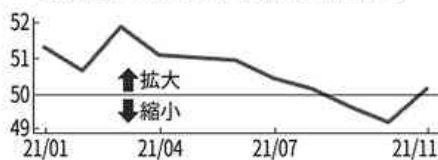
新規受注は国内外で伸び悩んでいる。需要不足による先行きへの懸念は残っている。11月は前月を0・9ポイント上げた。改善は8カ月ぶりだ。PMIを構成する生産指数が電力制限の

緩和もあり、3・6ポイント上

昇し、52・0に高まった。主要原材料の調達価格を示す指数も大幅に低下し、企業のコスト負担が軽減した。

景況感の改善が続くかは見通せない。生産の本格的な持ち直しに欠かせない需要の回復が遅れて

製造業PMIの50超えは3カ月ぶり



(出所)中国国家统计局

いるためだ。11月の新規受注の指数は改善した

が、8月以降、節目の50を下回ったままだ。

新型コロナウイルスの感染再拡大に伴う行動制限は経済活動の足を引っ張ってきた。外食や宿泊、

運輸、娯楽などサービス業が打撃を受け、製造業の受注が伸び悩む一因になっているとみられる。

政府の規制強化で不動産開発投資も冷え込み、建材などの需要が増えない。

国务院発展研究センタ

1の張立群研究員は「今、特に必要なのは公共投資を通じて企業の投資や雇用、個人消費を押し上げることだ」と強調する。

景気の下押し圧力を生む需要の制約を速やかに解消すべきだと訴える。

中国財政省は地方政府のインフラ債をめぐり、

2021年の新規発行枠を使い切るよう指示している。22年前半にかけて

地方のインフラ建設で景

気を下支えする考えだ。製造業の外需に対する見方も慎重だ。海外に限った新規受注を示す指数は5月から50割れが続く。実際の輸出額は前年

同月比2・3割増で推移しているが、これはコスト高やハイテク化に伴う製品単価の上昇の影響が大きい。受注が増えにく

いなか、輸出品の価格の引き上げが一段落すれば、輸出額の伸びも鈍る

可能性がある。